



子どもたちの「あけましておめでとうございます!」の元気な挨拶と共に、新年が始まりました。寒いなかでも元気に通所してくる子どもたちの姿を見て、育ち職員一同うれしい気持ちになりました。今年も残すところ残り3ヶ月。一日一日を大切に過ごし、子どもたちが毎日楽しく通所できるよう、精一杯支援に励みたいと思います。

さて、新年早々、インフルエンザやコロナが流行しています。「育ち」での感染症対策として、通所時の検温、手洗い、活動部屋の常時換気等を継続しております。
ご家庭でも基本的な感染症対策として、手洗い・うがいを丁寧におこない、よく食べ、よく寝て免疫力の向上に努めていただけたらと思います。



早期からの一貫した支援について

現年長さん達は、昨年12月に就学先(小学校や特別支援学校)が決定し、現在は就学に向けて準備に取り掛かっている時期かと思えます。

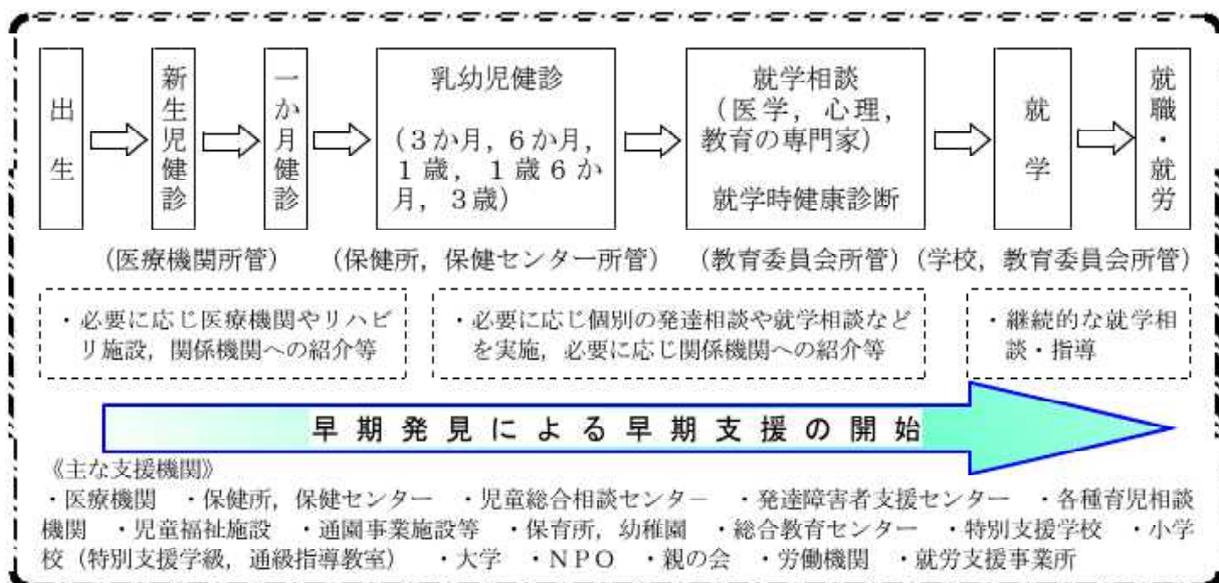
「育ち」では、保護者からの依頼があれば、就学先への移行支援資料として、各事業所の児童発達管理責任者が中心となり、様々な情報提供や相談活動、園等との連携を図らせていただきました。また、保護者の方々と相談活動を行うなかで、保護者の不安や戸惑いの声に直面し、その内容等も含め就学先に繋いでもらうように園等をお願いをしました。

では、そもそも・・・就学相談ってなに? 支援学級と通級の違いは、何でしょうか。

就学相談とは

主に小学校に就学する前年度に、発達の気になるお子さんが、通常学級に在籍するのが適切なのか、通常学級に在籍して通級指導を受けるのが適切なのか、あるいは特別支援学級か、特別支援学校か、といったいくつかの選択肢の中から、お子さんにとってどこに在籍することがもっとも力を伸ばすことのできる選択となるのかを相談、協議する機会となります。

就学相談では、現在通っている幼稚園や保育園などの先生の意見、地域の学校や療育機関(育ち)の意見、公認心理師や医師、幼児や児童の発達や心理を専門とする大学教員などの意見を踏まえ、お子さん本人や保護者の希望を考慮した上で、最終的に就学先の判断がなされます。必ずしも小学校入学前だけではなく、小学校入学後も進級や中学校進学タイミングで就学相談が行われる場合もあります。



「鹿児島県教育委員会 就学相談・支援の手引き」より引用

通級指導教室とは

通級指導教室は、言語面、聴覚面、情緒面など、子どもの困りごとに応じた指導を受けることができ、通常学級に在籍しながら、週に1回(2~3時間)参加します。通級指導教室の指導で改善が見られたら終了となります。

特別支援学級とは

通常の学級における指導では十分な成果をあげることが困難な児童生徒を対象とし、小・中学校に必要な応じて設けられる特別に編制された学級です。その種類としては、弱視、難聴、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害及び自閉症・情緒障害があります。

特別支援学級は、週の半分以上特別支援学級で授業を受け、学ぶことが可能なものについては通常学級で受けることができます。少人数のクラスなので、国語や算数などの教科を個別で丁寧に教えてもらえると思われがちですが、特別支援学級は学びや生活上の困りごとを改善することが目的です。困りごとが改善された時は、通級指導教室や通常の学級への変更を検討していきます。

特別支援学校とは

特別支援学校は、障害のある子どもが通う学校で、障害による学習や生活上の困難を克服し、自立を図ることを目的としています。また、専門の資格を持った職員が在籍しており、1クラス児童が6名に対して教員が2名くらいつきます。特別支援学級は、1クラス児童が8名に対して教員が1名（加配があれば2名）なので、手厚い支援を受けることができます。授業では、卒業後の視点を大切に、自立と社会参加に向けたカリキュラムが設けられています。

ということになります。

さて、「育ち」の代表は、元県立学校勤務（養護教諭）であり、特別支援教育コーディネーターとして高校現場で様々な関係機関と連携を図ってきました。「育ち」のスーパーバイザーや外部講師に特別支援教育に携わる教育関係者が多いのもその時のご縁がベースにあります。そして、このパイプも「育ちの強み」の一つであるとも考えています。

今回、現年長さんたちの就学に向けた取り組みを行うなかで、もっと早い段階から情報提供することや同年代の保護者同士が疑問や不安を出し合える場の提供が出来たら良かったなと思いました。

そこで、「育ち」の連携のパイプを有効活用し、次のような企画を計画することにしました。

特別支援学校巡回相談担当教諭による就学前相談保護者説明会・座談会

- ★第1回 令和7年度年長さん保護者対象 令和7年3月（日程調整中）
 - ★第2回 令和7年度年中さん保護者対象 令和7年10月（日程調整中）
- 詳細は、対象の保護者宛に後日、お示し致します。

各事業所から

第1事業所

- ①今月の行事
1月22日 避難訓練（火災）
- ②第1事業所では…

12月はクリスマス制作を行い、折り紙や絵の具を使ったクリスマスツリーの製作とサンタのお面を作りクリスマスを楽しみました。また、年末は、子ども達が活動部屋の雑巾拭きを行い、一生懸命綺麗にしてくれて、気持ちのいい新年を迎える事ができました。

新年が始まり、子どもたちの元気な顔をみる事ができ、お正月の様子をたくさん話をしてくれました。新年の活動として、今年の干支のくねくね蛇や伸びる蛇の製作、手形で初日の出を見立て、足形で獅子舞の身体に見立てたカレンダー作りを行いました。

寒さが一段と強くなり、感染症も流行ってきていますので、感染症対策をしっかりと行い体調に気を付けて今年も元気に活動を行っていきたくと思っています!!本年もよろしくお願い致します。

第3事業所

- ①今月の行事 1月16日 避難訓練（火災）
- ②第3事業所では…

12月の机上活動ではクリスマスや、

第2事業所

- ①今月の行事
1月23日 避難訓練（火災）
- ②第2事業所では…
あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

年明けの来所では「お餅をたくさん食べた」「お年玉をたくさんもらってお金持ちになったよ」と子どもたちがお正月の出来事を教えてくれました。1月前半は餅つきごっこや羽付きなど普段しない遊びを通して、バランスを保つ力を養ったり追視を促す活動を取り入れていきました。1月後半も寒さに負けないように身体を動かしていこうと思います。また年長さんは残り3か月となりました。育ちでの思い出と共に自信を持って就学できるよう支援していきたくと思います。年末年始の疲れも出たり、感染症も流行っていますので手洗い等もしっかり行って予防していきましょう♪

お正月におけての年賀状制作など、季節を感じることで活動数を多く取り入れました。放デイでは年賀状に住所や名前も丁寧に自分たちで書き入れ、12月の避難訓練の際、避難所までの経路確認で歩く途中にあるポストへ数名が代表して投函してくれました。新年を迎え、事業所に来た子ども達から「明けましておめでとうございます」の新年の挨拶と共に、「自分で作った年賀状が届いたよ!」と嬉しそうに報告してくれる姿があり、職員一同微笑ましく思いました。本年も丁寧な支援に努めて参ります。宜しくお願い致します。

